



第76回東北高校ラグビー大会 優勝
於 岩手県八幡平市ラグビー場



発行者
秋田工業高校ラグビー後援会
事務局 (018) 862-1256



秋田工業高等学校ラグビー部創部
一〇〇周年心よりお祝い申し上げます

秋田工業高等学校ラグビー後援会
会長 加賀屋 陽二

一九二五年（大正十四年四月）現在のJ.R秋田駅前近くの旧手形練兵場の楢田のポール二個を携えた十七、八人の学生たちが現れた。やがて秋田鉱山専門学校生の指導でボールを蹴り（キック）投げた（パス）。

秋田工ラグビーの第一歩はこうして印された。「秋田工はユニフォームが明治、動きは早稲田、部歌は慶応と、日本ラグビーのパイオニア校の象徴を取り入れている。」

※「精魂尽くして颯爽たり」秋田工高ラグビー部元監督佐藤忠男先生の著書より

そこから秋田工業高等学校ラグビー部は本年で創部一〇〇周年を迎える事となり、その間全国大会出場七十二回、優勝十五回、準優勝七回という実績を打ち出し、秋工ラグビーの苦闘と栄誉の歴史が刻まれてきました。長き歴史に携わって、ご指導、ご鞭撻を頂いた多くの指導者を始め、「創部以来百年の歴史と伝統を築いてきてくれました先人の方達」「切磋琢磨し、苦楽を共にしてきました他校のラグビー仲間の方々」「今日まで多岐に渡り支援して頂いた多くの方々に深く感謝と敬意を表したいと思います。」そして、この百年の間に、秋工ラグビーOBは千三百人を超え、同窓生は三万三千人を超えております。本年に至るまでには学校は元より、OB、同窓会、ラグビー協会、

父母の会の皆様、秋工ラグビーを心より応援、御支援頂きました数多くの方々に対しまして、秋工ラグビー後援会といたしまして心より深く感謝申し上げます。お陰様で「秋工ラガー誌」も今回で第四十九号となり、本年一〇〇周年を期にカラー刷りとさせて頂きました。

秋工ラグビーのジャージは一〇〇周年の重みがあります。ジャージにはOB、部員、応援してくれる方々の思いが詰まっております。ラグビーを通じて多くのことに挑戦する勇気と努力が未来を拓き成長し、言わば人間形成に繋がっていく事と思えます。

ラグビー部員は今年新たに十九名、マネージャー二名が入部され、二年生十四名（内マネージャー一名）、三年生十二名総勢四十七名、創部一〇〇周年という記念すべき年を迎え、全国大会ベスト8以上を目標に汗と泥にまみれながら日々厳しい練習に励んでおります。

記念すべき一〇〇周年の節目から一〇一年目の新たな第一歩が踏み出されます。後援会としましても、今後もできる限りの応援、支援をしてまいります。

引き続き御支援、御協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。